

## 第21期 国立市社会教育委員の会（第1回臨時会）会議要旨

平成28年7月11日（月）

[出席者]

- ・ 八小父母と教師の会
- ・ 社会教育委員 柳田、太田、牧野、坂上、川廷、中野、倉持

[事務局] 津田、井田

柳田議長 では、皆様、こんばんは。まだ定刻まで1分ありますが、全員お集まりいただきましたので、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

私、第21期国立市社会教育委員の議長で、本日の司会をいたします柳田と申します。どうぞよろしくお願ひします。

本日は、第21期国立市社会教育委員の会第1回臨時会と題しまして、国立市社会教育委員の会で諮問、生涯学習振興推進計画にかかわる基本施策の体系や重点施策とそのあり方について答申を作成する上で参考とするために率直なご意見をお伺いしたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。

初めに、配付資料について事務局よりご説明申し上げます。

事務局 では、配付資料を確認させていただきます。まず、第21期国立市社会教育委員の会第1回臨時会次第と書かれたもの。右上に資料1とあります本日の流れ等について。右上に資料2とございます国立市の生涯学習にかかわる課題について。委員だけになりますけれども、右上に資料3と書かれております第21期国立市社会教育委員の会審議内容と成果物と書かれたものの以上でございます。

資料の漏れのある方、いらっしゃいますでしょうか。

柳田議長 よろしいでしょうか。

では、早速ですが、出席者のご紹介について、ご着席いただいたままで構いませんので、順にお名前とご所属の紹介をお願いいたします。

では、私から。議長を務めております。東京女子体育大学の柳田と申します。どうぞよろしくお願ひします。

太田委員 副議長をしております一橋大学の太田と申します。よろしくお願ひいたします。

川廷委員 図書館協議会の委員をしておりまして、社会教育委員のほうに出ております。川廷と申します。よろしくお願ひいたします。

坂上委員 NHK学園の坂上と申します。よろしくお願ひします。

牧野委員 校長会の代表ということで出させていただきます。国立第八小学校の校長、牧野でございます。よろしくお願ひします。4カ月目に突入しました。

中野委員 青少年地区育成会の中野と申します。よろしくお願ひいたします。

倉持委員 東京学芸大学の倉持です。よろしくお願ひします。

柳田議長 それでは、ヒアリング先の方、よろしく申し上げます。

八小父母と教師の会八小渉外委員①(以下、八小渉外委員①) 八小渉外委員①と申します。よろしく申し上げます。

八小父母と教師の会八小渉外委員②(以下、八小渉外委員②) 八小渉外委員②です。どうぞよろしく申し上げます。

柳田議長 ありがとうございます。

事務局 事務局をしております生涯学習課長の津田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局 同じく事務局の社会教育担当係長の井田と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

柳田議長 それでは、早速ヒアリングに移ります。牧野委員、よろしくお願ひいたします。

牧野委員 それでは、お手元の資料1のところにも書かれていますのでけれども、そちらをもとに、まず、このヒアリングの趣旨についてご説明させていただきます。

このヒアリングは市内の関連団体、社会教育委員の皆様の関連する団体を対象にして、社会教育委員の会にて作成いたしました国立市の生涯学習にかかわる課題、これはこの後また見ていただきますけれども、そちらについて議論がされていないような視点、あるいは、活動の状況やニーズなどについて、アンケートも行ってきましたけれども、アンケートでは聞きとり切れないような内容について直接お会いしてお伺いすることを目的としています。

お伺いした内容は、答申に向けて検討する上での基礎資料とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

今日は、ヒアリングということではいらっしゃる八小父母と教師の会の渉外部の2人の皆様にヒアリングをお願いいたしましたのは、幾つか理由がございます。1つ目が、子どもについて、特にこの課題のところにも出てきますけれども、ひきこもりや、あるいは何らかの課題を抱える方、あるいは家庭教育への支援を行うというようなことが今、社会教育に求められているというようなこと。それがまず1つ目。皆様が働き世代というようなあたり。そして、社会教育施設で活動している団体ではないというようなところからも広くヒアリングをとというようなことの趣旨にのっとり、今日、八小の父母と教師の会の皆様にお話を聞きながら、生涯学習を広げていくことを考えていきたいことなどについて率直なお話を伺いたいというようなことでございますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

先ほど国立市の生涯学習にかかわる課題ということで、1枚目の資料1に載せさせていただいておりますけれども、資料2ということでお配りさせていただいているところに、国立市の生涯学習にかかわる課題についてというものを配らせていただいていると思うのですが、全部で8つ大きな項目がございます。内容的にはこれを全部また改めてということであると、お時間がかかってしまうので、大きな項目のみということで見ただけであればと思うの

ですが、1つ目が、情報の整理や発信について。2つ目が、学習の機会を広げるということについて。そして、3つ目が、学習の成果を活かす機会の充実について。そして、4つ目といたしましては、さまざまな資源を活用すること、施設の運営や活用体制というものについて。5つ目が、文化・芸術とスポーツを振興していくことについて。6つ目が、学習をサポートする人の育成と連携について。7つ目が、生涯学習計画を策定する上での課題というようなことで、7つ目が、生涯学習理念を市民にわかりやすく伝えるというようなこと。そして、8番目といたしまして、評価に向けてというような、大きな8つの柱で、それぞれまたその中に細かい課題ということを書かせていただいているという状況でございます。

以上、資料1番、2番、趣旨ですとか、課題についての説明を終わらせていただきます。

柳田議長 ありがとうございます。

それでは、早速質問、意見交換の時間に移りたいと思います。こちらも牧野委員、よろしくをお願いします。

牧野委員 資料1のところに、主な質問項目についてということで、3番目のところ、1番から5番まで記載させていただいていると思うのですが、お一つずつ質問させていただいて、八小父母と教師の会のお二人の、八小生涯委員①さん、八小生涯委員②さんにお答えいただいているというようなところで進めさせていただければと思うのですが。その後、お答えいただいた後に皆様から意見、その場でお話をいただいたほうがいいのか。それとも、1つやって、2つ目、ご質問して答えていただいて、どんどん進めていったほうがいいのか。もう1回、そのことをどういうふうな進め方がいいのかというあたりだけちょっと教えていただければと思うのですが。

柳田議長 時間も限られているところですが、質問項目が大きく5つございますが、いかがでしょうか。1つずつ意見聞かせていただいたら、その後、委員のほうから何か質問していくか、意見交換をするか、あるいはお一人ずつお話いただいたあとに意見交換をするか、それとも、最後まで一旦終わってから、全体を通して意見交換するかということですが、いかがでしょうか。

倉持委員 八小生涯委員①さんと八小生涯委員②さんが進めやすいほうだと思いますけれども、先にしゃべっちゃったほうがやりやすいか、やりとりしながらのほうが話しやすいか。

八小渉外委員① 事前に資料を同じようなものをいただいていたのですが、なかなかどのように理解すればいいかというのがわかりづらかったのです。こういう形というのも初めてなので。もしもご意見があるのであれば。

八小渉外委員② 生涯学習ということ自体がまだあまり浸透していないというか、わかって活動されている方というのが多分少ないし。少ないというか、私たちの世代は忙しくてまだそういう世代ではない。ですので、あまり実感として生涯学習、今、こうというのはあまりないというか。考える暇もないぐらいなのですけれども、時々体育館とか、そういうところに行かせていただくと、ご高齢の方とかが朝、いろいろ活動されている姿を見せていただいたりして、ああいう形でされているのだろうなということとか、あとは不登校と

かひきこもりとか、そういう問題はすごく大切だとは思いますが、まだそういう段階なのですから。どうなのですか。

八小渉外委員① この中でということであれば、重要度が高いと感じる項目はとなっているのですが、特に思うところであれば、2番の学習の機会を広げるといって、うちの子は特に不登校になったり、ひきこもりになったりというのは今のところないのですが、中学校になると、結構1クラスに1人とか不登校の子がいるという話も聞きますので、そういう方たちがどのように学習しているのかというのはやはり気になる点ではあったのですが、多分、もう家庭に任されている感じかと思うので、ここは重要度は高いかとは思いますが。

牧野委員 そうしますと、今、内容に踏み込んでいただいていると思うのですが、どのような進め方をしたらいいかということであったのですが、そうしますと、まず、今、1番目のところでまずお答えいただいて、その後、皆様からご質問やご意見をいただいたほうがよろしいか、それとも、2番目の質問をさせていただきまして私に質問させていただいて、発信していただいて、皆様に聞いていただいて、3番目といったほうがよろしいか。まとめて。それとも、一つ一つ今、やりとりされたほうがよろしいか。そのあたりはどちらがよろしいかなという。

八小渉外委員① 一つ一つのほうが。私は一つ一つやりとりのほうが理解しながらやっていく感じ。

牧野委員 わかりました。そうしましたら、すみません、ちょっと進め方が悪かった部分があるのですが、今のお話、ちょっと八小生涯委員①さんにも途中までお話いただきましたけれども、活動される中で課題として重要度が高いと感じる項目はありますか。あればその項目・理由を教えてくださいというところで、今の部分、すみません、もう1回改めて、重複してしまうのですが、言っていただきながら、委員の皆様からも後で質問、意見があればというふうな流れで。申しわけないです。

八小渉外委員① 今、言ったとおりなのですから、私は、2番の学習の機会を広げるといって、不登校になっても、ひきこもりになっても、ある程度また立ち直れるというか、そういう機会がどの子にもあればいいなというのはあるし、あと、居場所があるととてもいいかとは思っています。

牧野委員 ありがとうございます。では、この1番についてまとめてということで、八小生涯委員②さんはお考えと伺いますか。もし考えていただいているところがございましたら、この1つ目。八小生涯委員①さんは不登校、ひきこもりというようなあたりをご説明いただいたところなのですから。

八小渉外委員② 私も2番のいじめ、不登校、ひきこもりのところと、あとは高齢者の方、特に単身世帯ということですか。ほとんどみんないじめが原因で行かなくなっているということで、ちょっとこれは大変なことか。中学校にうまく入れ切れなかったというか、すごく難しい関係だと思ってしまうのですが、そこでうまく関係をつくれなかった子が多いのか。大体中学校1年生でというお子さんが、そこからもう大学ぐらい、大学進学のところまでやっとならされるようになってきてみたいなお子さんが出て、ここかと思えます。

中1のところではつまずくと、その後、やはり怖くて行かれなくなっちゃうような感じの子が何人かいらっしゃいまして、ここはすごく大変なのかというのと。

高齢者の方とかは、単身世帯、よくわからないけれども、スーパーとかに行くと、万引き捕まっているおじいちゃんとかを見かけたりするので、パトカーとかが来ていたりとかして、何かすごいおじいちゃんが、両脇をこう。ああ、おじいちゃん、そうなのだと思って、やはり心配なおじいちゃん、おばあちゃんが、もしかして、いっばいかわからないですけども、気づかれずに大変な思いをされていたりするのかなと思うので、ちょっと気づいてあげられたらいいのではないかと思います。

そんなところです。

牧野委員 ありがとうございます。1つ目の項目ということで、課題として重要度が高いというようなところで、お二人の方から、この課題の中の2番の学習の機会を広げる中の①の(5)番のところについてお答えいただいたということなのですけれども、今、そのようなお話をお伺いして、委員の皆様からより質問ですとか、ご意見等があれば、お話しいただければということで進めさせていただければ。いかがでしょうか。

太田委員 よろしいですか。太田です。

冒頭に生涯学習ってあまりなじみがないというようなことをお二方ともおっしゃっていたのがちょっと印象に残っているのですが、どういうふうなものとして生涯学習というのをイメージされているのかということのもあわせてお聞きできると、ちょっとほかの課題についてももう少しご意見いただきたいと思うので、どんなものというふうにイメージされているかしらとか。

さっき、八小生涯委員②さんが高齢の方のことにも言及されていて、多分、高齢で元気な方が、体育館に行って体動かしたりとか、公園でちょっと何かやってみたりとかとみたいなことは多分生涯学習だとイメージされているのだろうというのが何となくわかったのですけれども。

八小渉外委員② 多分一生そういう何か学習というか、学ぶ機会をというので、もしかしたらスポーツに限らないというか、やはりいろいろな市民講座みたいなものとかも生まれるのかと思うのですけれども。

子育てのそういう講座みたいなものだったりもあるのかと思うのですが、今、あまり必要ない時期というか、赤ちゃんが生まれるときとか、そういうときだったりすると、何か勉強しなければいけないというか、知りたいことがあって、何かしようとか、子育てが始まったばかりというのはすごく必要で参加したいと思うのですけれども、だんだん今は子どもも育ってきて、今度はしばらくはそういうことから遠ざかる。

でも、お友達なんかはバレーボールのサークルみたいなものに入ったり、いろいろされている方もいらっしゃる。

八小渉外委員① 私が生涯学習とってイメージしていたのは、社会人になってから学習する機会というか。なので、学生の、小学生のそういう子たちも生涯学習ということにもかかわるのだということちょっと初めて知ったというか、理解にはなかったところです。結構多岐にわたっているのだなということは今回のこの資料で再認識したところです。

太田委員 ありがとうございます。  
続けてもう1つお聞きしてもいいですか。

牧野委員 どうぞお願いいたします。

太田委員 今、お話をお聞きして、大人になってから、例えば出産、育児の過程で何かサポートしてあげるようなものとかが生涯学習としてイメージされるというのは、多分そのライフステージにあわせてその学び方が変わってくるというようなイメージをお持ちだということがよくわかったのですけれども。

となると、例えば、もし思いつかれればということなのではございますけれども、これまで子育てをなさってきた中でこういうのがあって助かったとか、もう少しここにサポートが市としてあったほうがよかったみたいなことを、もしお感じになられたことがあったりとか、最近でもあれば教えていただけると。そのあたりをこの課題にかかわらせて考えたいと思うのですが。

八小渉外委員② よかったことは、マタニティサークルみたいなのです。赤ちゃんが何月に生まれるこのお母さんたちのサークルみたいなものがある、それに私は入っていたのですけれども、上の子のときには。そこでその時期時期に合わせて、何か月ぐらいだとこんなことがとお勉強して、それでそこでお友達もできて、今でもつながっているお友達がたくさんいるので、後から出会う友達というより、そのときに知り合った友達のほうが、子どもが成長の過程でちょっと中学生ぐらいになると生意気なことを言ったりしても、もともとこんないい子だったから大丈夫だよじゃないけれども、そういう感じでもととの小さいときのことを知っているお友達のほうが話しやすかったり、いろいろ、途中で出会う、小学校のときとかってちょっとまた勉強のことだったり、そういう時期に出会う人よりもちょっと支えになるというか、話。それで、ずっといい友達と出会わせていただいたのですけれども。

でも、その一方で、下は双子だったので、双子っていないし、双子の大変さというのがわかり合える人というのが少なかったかというのは思う。そういう情報を手に入れるところというのが非常に少なかったので、手探りなところが多くて大変でした。今は多分ありますよね。双子のサークルとか多分あると思うのですけれども、でも、出ていくのが大変だったのです。1人とは全然違うので、出ていかれないので、出ていかななくても。今はいろいろソーシャルメディアみたいなこんなので出会えるのですかね。

太田委員 そうすると、この課題のほうの大きい3番の⑤(18)あたりは結構今のお話と重なるかと思いつながらお聞きしていたのですけれども。(17)もそうなのかもしれないです。あとは情報もそうですか。情報もという。

牧野委員 八小生涯委員①さんはどうですか。

八小渉外委員① 私もやはり一番上の子のときに、生後何か月かのときにそういう市の、うちは転勤族なので、いろいろなところに行っていてあれなのですけれども、それは札幌市だったのですけれども、そういうサークルがあって、そのときの友達が今もずっと、20年くらい続いているということで、やはりそういうのがあって、大変な時期も乗り越えられたというのがすごくあります。2人目、3人目になると、上の子のこととかがあるので、そういうの

にはなかなか参加できないのですけれども。やはり初めてというときは一番大変なので、それはすごくよかったと思っています。

太田委員 それもやはり地域の中で出会えるような場所、そういうサポートがというようなことでよろしいですか。

やはり17番、18番あたりにかかわるでしょうか。

八小渉外委員① そうですね。

牧野委員 ありがとうございます。今、お話の中で、最初の部分はいじめや不登校の部分というのがありましたけれども、お話の中では、今、太田副議長さんにお話まとめていただいた部分がありますが、情報の発信というようなことや、それから、市民の活動の連携というような17番、18番、あるいは情報の整理や発信といいますと、数字言うと、大きな1番のあたりというところも課題ということで挙げられるのかというあたりをお話しいただいたところなのですが、ほかの委員様からの質問だとかご意見とかございましたら、いただけたらと思いますけれども、どうでしょうか。

特にないでよろしいですか。そうしましたら、進めていく中で、またこの内容に戻る部分もあるかもしれないので、次の項目に移らせていただければと思いますけれども。

2番目の質問といたしましては、この国立市の生涯学習にかかわる課題についての中で、修正したほうがいいのではないのかというような項目がありましたら教えていただければということで、意見や提案、その項目などについての理由などについても教えていただければということなのですが、いかがでしょうか。

八小渉外委員① 修正ってここの文章の中でということですよ。

牧野委員 ということでよろしいですね。この文章。挙げさせていただいた部分ですね。

八小渉外委員① この1番の情報の整理、発信というところで、ふだん市報みたいなものとか、何かいろいろなものが折り込みとかで入ってくるのですけれども、そういうものが1つにまとまっていないということなのですかね、この情報が1つにまとまっておらずというのは、そういうことなのでしょうか。

柳田議長 国立市が生涯学習に関する情報というのはいろいろところで詳しく出されてはいるのですが、それが、例えばどこを見ていいのかわからないというようなことがあったりとか、そういうのを1つにまとめてはいかがなのかというようなことかと思えます。

太田委員 例えば市報にも載っていたり、公民館だよりも載っていたり、そういうのが幾つかあって、市報にまとめていろいろな色の紙ががさっといつも郵便受けに入っているわけですが、それぞれにちょっとずつ学習情報が載っていたりとかというような、そういうようなことになっています。

八小渉外委員① そうです。それが1つにまとまってくると、すごく助かります。私もいろいろなものをやはり見るのですけれども、見落とすこともありますし、修正ということになるのかわからないのですけれども、1つにまとめて

もらえるありがたいのと、あと、インターネットとかでも見られるほうが  
きっといいかというのはあります。修正とは言わないですか。

牧野委員 ここに書いてある中身は若干違うのかというあたりで、はてなマークが  
つくようなところがあればという、そういうイメージで。

八小渉外委員① 違うのか。

倉持委員 今、言っていたのは、どちらかという、それが大事だということ  
ですね。

牧野委員 そうです。より重要ですということ。

倉持委員 それはそれで貴重なご意見なので。いろいろな情報がばらばら来るので  
はなくてというほうがいいのではないかということです。むしろ、いや、  
ばらばらに来ていいのではないかというのが、むしろ今、伺っていたことだ  
ったのですけれども、ここに書いてあるのと反対とか、違っているのではな  
いかと思うことがあればということだったので。だったのですけれども、今、  
言っていたことは言っていたことで大事なご指摘でした。

牧野委員 課題としてこう書かれている中身の部分が、いや、そうではないですよ  
というような見方というあたりのご指摘がいただければ。今のところで言う  
と、1つにまとまっていないのがわかりにくいということ、そうですねと  
いうお話をいただいたのですが、いや、まとまっていなくてもわかりやすい  
というところがあれば、そういうあたりのイメージなのですから。

坂上委員 坂上ですけれども、だから、例えば先ほどおっしゃっていたマタニティ  
サークルの情報があるとして、そういうものをあまねく高齢者のうちにまで  
配ってもしょうがないじゃない。それは産婦人科の病院とか保健所にありさ  
えすれば、むだなお金を使わなくて済むのではないかというようなご意見が  
あるとしたら伺って見たかったということですよ、大体。

牧野委員 そうでなくてもよろしいのではないかというようなあれがございましたら  
ということになるのだと思うのですが。

八小渉外委員② 施設の使い勝手がよいとはいえないとか、数が十分ではないとか、  
いろいろ出ているのですけれども。

牧野委員 番号で言うと、4の。

八小渉外委員② 4番の辺なのですからけれども、そうなのですか。わからないですけ  
れども。でも、きっと足りないという人が多いのですかね。私は別に。

倉持委員 そんなに足りないと思わない。

八小渉外委員② 十分、子どもをあちこち連れて、あっちの公園、こっちの公園っ  
て行って、夏はお水があるところみたいな感じで遊ばせていただいたので、  
国立市はわりと楽しくどこに行っても、虫がいたりとかもするし、その年代  
年代で遊ばせていただいたのと、あとは、市民講座なんかでも、育児サーク



ルとかで講座がば一つと書いてある紙がありますね。あそこから何か呼んで、エプロン劇場じゃないけれども、何かやってもらったりとか、サークルで楽しくさせていただいたので、もっとみんな欲しいのかなって。私は十分だったかなっていう。楽しくさせて。

牧野委員 八小生涯委員②さんは4の22、23。

八小渉外委員② そうですね、21、2。でも、22とかはそうなのかなと思って。場所を公民館とかとりたい、防災センターとかですか、とりたいというのも、何日の何時に来いみたいになっていて、子どもがいて雨も降ったりいろいろするのに、何でこの時間に来いとか言ってというので、係になったりすると、必死だったので。これは。

牧野委員 このままですか。

八小渉外委員② これでこのとおりだと思えるのですけれども。21は特に私は十分だったかと。

牧野委員 十分だと思う。ありがとうございます。  
お伺いしておくところ、八小生涯委員①さんはございますか。

八小渉外委員① 修正ですか。

牧野委員 ええ。

八小渉外委員① 修正という意味では、ちょっと見当たらないです。

牧野委員 わかりました。  
では、今、八小生涯委員②さんから資源の活用というところでの21番というところについては、八小生涯委員②さんの立場からすると、こうではないのではないかというようなお話をいただきました。皆様、いかがでございましょうか。そのお話をお伺いしてご質問なり、ご意見等がございましたらお願いできればと思いますけれども。  
八小生涯委員①さんは今のあたりは、八小生涯委員②さんのおっしゃった点についてどうですか。

八小渉外委員① 私は国立は1年と何カ月かなんですけれども、国立市にしては図書館がもうちょっと充実していてもいいのではないかという感じは印象では受けました。うちはほんとうに近くなので、北プラザとかも行ったりとか、ちょっと中央図書館ですか、あっちは行きづらいのですけれども、もうちょっと充実しているのかなという印象だったので。

倉持委員 充実っておっしゃっている意味は本の数ですか、それとも、図書館の数ですか。

八小渉外委員① 図書館の数はあるとは思えるのですけれども、ちょっと使いづらい場所かというのものもあるし、あとは、やはり本の量というか、施設全体も。

倉持委員 ああ、施設そのものが。もうちょっと広いとかきれいとか、わからないけれども。

八小渉外委員① そうですね。というイメージが、この国立というのがすごく文教地区でというのがあるので、それは感じましたけれども。

倉持委員 わかりました。いらっしゃる前はもっとすごく立派な。

八小渉外委員① があるのかと、わりと中心に誰でも行きやすいところに大きいものがあるって、小さい子も、中学生、高校生も大学生も集えるような感じになっているのかと思っていたのですけれども、意外と、あれ、ちょっとという感じだったので。

牧野委員 わかりました。文教都市というイメージでいらっしゃってというところですね。

八小渉外委員① そうですね。

牧野委員 今、出していただいたところでは、4番のところが話題になったのですけれども、皆様、いかがでしょうか。ご意見、ご質問等ございましたら。よろしいですか。

そうしましたら、続けさせていただいて、3番目のところに行かせていただいでよろしいでしょうか。

国立市の生涯学習にかかわる課題、こちらに今、8つの項目でということ、全部で36項目ありますけれども、それ以外でこの国立市の生涯学習にかかわる課題というようなことで何か感じていらっしゃるということがあれば教えていただければということなのですが。

八小渉外委員① きのうあったばかりなのですけれども、選挙が18歳からになって、多分18歳、19歳の、20歳もそうかもしれないですけれども、なかなか選べなかったのではないかとするのはすごく感じていて、高校生からよりもっと年が若い時期からそういう政治にも関心を持つようなそういうことができたらとか、憲法とかもそうですけれども、そういう勉強、学習というのですか——ができる機会があるといいのか。ちょっとこの中にも含まれているかもしれないのですけれども、でも、それはすごく感じたところです。

あと、電気のこととか今、どんどん変わってきているので、そういうところを地域でも学習して行って、国立市としてどうしていくかということも考えられたらいいかなと思ったというのはあります。

牧野委員 ありがとうございます。今のお話をお伺いして、もしくは八小生涯委員②さん、ございますか。

八小渉外委員② 私は特にないのですけれども、八小生涯委員①さんの今のお話を伺って、でもそうだろうなと思いました。政治のことに中高生の子が関心を持っていて、ただ、ほんとうにユーチューブとかそういうところで、こんなにいっぱいの人が見ているからおもしろいからとか、そういう安易な形で見ていて、ちょっとうけるんだよじゃないけれども、ちょっと政治というものをそういうおもしろい動画と一緒にしちゃっているようなところがある

ので、そういうソーシャルメディアの使い方もきちんとして上でそういうものを政治のことに分けてきちんと勉強する機会が必要だと思います。

きちんと勉強した上で扱えるようになってほしいと思います。

牧野委員 ありがとうございます。まずここに、それ以外というところでは政治のことがあるという部分を出していただきましたけれども、お伺いした委員の皆様、いかがでしょうか。

太田委員 ちょっと確認させていただいていいですか。今のご指摘とても重要だと思います。この課題のほうの2ページ目の一番上に主権者並びに地方自治の主体としての意識と力量を形成する学習機会の確保、充実というのは、実はそういった若い人が政治に関心を持ったときに、きちんと学べる場とか、あるいはもっと年齢を重ねても政治について意見交換できるとか、あと、憲法についてもちゃんとその都度、状況を把握しつつ学ぶとかということも含まれると解釈もできそうな文章ではあるのですが、こういった表現だとちょっとしっくりこないというようなことはありますか。確かにもっとダイレクトに政治とか憲法について学べるような機会がというふうに書いたほうが明確だとは今のお話聞いて思ったのですが。

牧野委員 その辺いかがでしょう。今、お話しいただいたことと太田副議長さんからのお話、ダイレクトにみたい。

八小渉外委員① 結構そういうふうに書いてあったほうがいいかなとは思いますが、けれども、ちょっとどこまでこれって含まれているのかという。

太田委員 ちょっと書き方が抽象的過ぎる感じはします。

八小渉外委員① でも、きっとそのときによっていろいろなことをやるということなので、そうですね。そういう。

太田委員 主権者とか地方自治の主体というのは、選挙に行って投票するとか、そういうことも含まれていると思うので。ただ、書き方としてはちょっと伝わりづらいところがあって。

八小渉外委員① ちょっとわかりづらいですね。

太田委員 はい。となると、この項目を修正したほうがいいというご意見でもあるのかというふうにお聞きしたのです。

八小渉外委員① ああ、そうですね。はい。できればそう。

牧野委員 より具体的にというふうな。

八小渉外委員① そうですね。

牧野委員 八小生涯委員②さんはいかがでしょう。

八小渉外委員② 私も具体的なほうがわかりやすい。

牧野委員 ありがとうございます。  
太田副議長、よろしいでしょうか。

太田委員 はい、ありがとうございます。

牧野委員 ありがとうございます。

坂上委員 すみません、坂上ですけれども、一応これは国立市が出す文章を私どもがつくっているのですけれども、つまり、役所が主導するところの場で政治とか憲法とか表だって学ぶ場をというようなことをいったときに、役所の都合のいい主権者を育成する可能性があるかもしれない。実際には極めて低いと思うのですけれども、そういう部分について不安を感じられることはないでしょうか。

八小涉外委員② それはあります。それはもちろん非常にあります。でも、この抽象的な文章の中にどうやって、どういう形でやるのかということは書かれているわけでもないですし、一体どうやってやるのかなということ、具体的なことがないと、この文章は成り立たないと思うので、具体的にどんなことをやるのかなということは疑問ではあります。

太田委員 よろしいですか。太田です。

私たちがまた市民の1人としてこの社会教育委員をやっていて、市民の立場から市の生涯学習の推進計画を進める上でどういう課題をきちんと市のほうには認識していただきたいという形で課題を集約するという作業を今、ここで行っているわけなのですけれども、そのときにさっき坂上さんがおっしゃったみたいに、あまり中立的ではないというふうに思われる可能性があるような事態を招くのは、やはりよろしくないのかもしれないのですが、逆に、抽象的な書き方を、抽象的な表現をこういうところに載せることによって、いかようにも解釈できるという状態がそういう危険性を招くということもあるわけなので、より具体的なことを、皆様の直接的なお言葉をいただきながら表現を変えていったほうが良いというふうに思うのです。

なので、例えばさっきお話しいただいたように、18歳から選挙に行かれるようになって、でも、どういうふうにして情報を集めたらいいのかがまだよくわからないとか、もっと早い段階から始めたほうがいいみたいなこともきちんと伝わるような書き方で課題として提示していく必要があるのだらうと思ったので、さっき確認させていただいたのですけれども、そういうようなことで何かご意見ありますか。

牧野委員 どうでしょうか。これに関して。

八小涉外委員① でも、やはりそういう学習をしたほうが良いのだということを知らせたり、考えさせられたりするためにも具体的に書いていたほうが良いかもしれないし、どういうふうなものをそういう学習会がなされるかというのはまたわからないというか、それは難しいところかもしれないのですけれども、でも、やはり一人一人が考えなければいけないことなので、言葉を明確に書かれていったほうが、これだったら、多分読んでも意味がよくわからなくてと終わっちゃう感じはあるので、せっかくやるのであれば、そのあたりは、書けるのであれば書いたほうが良いかなとは思っています。

太田委員 ちょっと具体的な場面をイメージすると、例えば市民の方々が自発的に憲法について学習する機会を設けたとして、それに広く参加を呼びかけるような広報活動をしたとして、何らかの事情でそれが非常にやりにくい状況になった。例えば反対者がたくさんやってきて、これはどうなのかみたいなことを聞かれると、やはり心理的にためらいが生じたりとか、でも、それが憲法について学ぶという機会が侵害されている、学ぶ権利が侵害されているというふうにもとり得るので、そういうことがないように市はきちんとそういった学習の機会を確保させるようにサポートしていただきたいというような、それを計画に盛り込むということは、そういう市の姿勢をきちんと確認するというにもなるので、やはりそういう書き方で計画に課題としてきちんと明記したほうがいいだろうと今のお話を聞いて思いました。

牧野委員 ほかの委員の方、いかがですか。

坂上委員 坂上ですけれども。多分政治的立場って非常に、こちらからこちらまで幅広くありますよね。例えばある憲法を論じる講座で、こちらの立場の人を呼びたいというような企画があったとして、反対で、今だったら炎上するかもしれませんよね。そのときに、この人は、つまり、真ん中でなくて、この人は中立でないからやめるというのはあまり適切ではないのだろう。そうすると、例えばそれを1つの講座として、1回だけの講座として見るとまずいわけで、全体の講座として、こっちの人もこっちの人も、幾つか出すような、安全弁というか、つくることまでというか、それをやるのはどこか調整機関をつくるとかということまで要求されてしまうのか。それは講座開発主体が要求されるのかしらとか思うのですけれども。

太田委員 市が主催する講座の場合は多分その辺いろいろと配慮するところもあると思うのですけれども、市民が主体的に学習をするというときに、何をいつ学ぶのか、誰が学ぶのかというのは、それはその学習者の自由なわけなので、それが侵害されるような状況はよろしくないというふうに私は思うわけなのですけれども、それを避けるために市はやはり努力をする必要がある。それが伝わるような書き方にならないかというふうに思っているのですが。

なので、仮に両極端の考え方の1つの講座がこの時点で開催されるとしても、別の時点でまた違う考え方があらわれるかもしれないかもしれませんが、それは同時並行的にはなかなか起こらないものなのですが、その都度その都度ちゃんと学習者の自由を確保できるような体制になっていけば、総合的に坂上さんが懸念されるようなことも、特に問題視する必要もないのかと思ったりもするのですが。

坂上委員 すみません。私はNHKで番組をつくっていたものですから、それで、いわゆる人間大学とか市民大学講座とか、ある特定の先生に3カ月とか半年とかお任せすると、例えば環境問題であるとか、政治学の問題であるとか、偏向だという投書が必ず来ますね。だから、私どもの場合は、この人はこういう立場ですけれども、そうでない回ではこういう方も取り上げています、全体で見てください、年間とか、あるいは3年間とかというような言い方をしていたのですけれども。だから、やはり政治の問題は、確かに、はっきり書いたほうが私もいいと思うのですけれども、はっきり書くに当たって、どうその適切さを担保していくかということも書かなきゃいけないということになりますよね。

牧野委員 では、そうしますと、今のご意見をいただきながら、最初のところの④の13番のところの書きぶり、それから、ヒアリングいただいた八小生涯委員①さん、八小生涯委員②さんのお話と委員さんのところをバランスよくまとめていくような形でということでしょうか。

太田委員 すみません、ちょっと確認なのですが、今の課題の(13)番の項目についてなんですけれども、これは特に重要だということでしたらご意見なので、質問項目の1つ目の課題として重要度が高いというところに(13)の、文言は修正したほうがいいけれども、重要だというような形でご意見いただいたというふうに記録させていただいても構わないでしょうか。

八小渉外委員① はい。お願いします。

牧野委員 よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、今、3番目のところで、ここにある課題以外でということなのですが、今、出てきたかということなのですが、4番目のところに移らせていただければと思うのですが、これ以外にご意見とかご提案だったりということで、何かあれば。国立市の生涯学習にかかわる課題についてということについて、あれば教えていただければと思うのですが。いかがでしょうか。

倉持委員 何かちょっと質問はかたいのですけれども、八小生涯委員①さんはいろいろなほかの地域でもご自身の成長だったり、あるいはお子さんの子育てされてきていると思うので、他市と比べて国立に住んでみてということもちょっと念頭に置きながら、もっとこうだったらいいのにとか、お子さんの子育てでも、あるいは学校教育でも、あるいはご自身がこれから何か取り組もうと思っていられることでもいいので、何かあって。八小生涯委員②さんはずっと国立にお住まい。

八小渉外委員② はい。

倉持委員 では、今度は逆にわりと長く住んでいらっしゃるという目線で。あるいはお二人の双子のお子さんを育てられた大変ご苦労もされていると思うのですけれども、子どもがこれから地域ということと、あるいは国立というところで子どもが成長していく、あるいはこれから親としても、子育てが少し落ち着いて将来ということもあると思うのですけれども、何かこうあったらいいとか、あるいはこういうところがもうちょっと力が入っているといいのにとか、あるいはこんなことをしてみたいとかというあたりは何かありますか。

子育てはしやすいですか。

八小渉外委員① 結構大きくなってしまってきたので。でも、すごくいいところですね。一番下が5年生でこちらにお世話になったのですけれども、すごく受け入れがよくて、とても楽しく通わせてもらっているので、すごく雰囲気はいいなというのはありますね。ただ、中学校は公立の二中に今、お姉ちゃんも行っているのですけれども、国立市の、横の国分寺市もそうですけれども、内申をとるのが、どこも一緒なのかもしれないのですけれども、そういう勉強の面では子育てしやすいとはいえないかな。でも、それはどこも一緒ですね。

でも、児童館の行事とかにはすごく参加させてもらっているのですけれど

も、すごく充実していると思います。いろいろなハイキングに行ったりとか、夏休みのキャンプとかに申し込んだりとかしているのですけれども、すごく充実していると思います。子育てはしやすいのではないかと思います。

倉持委員 転入されてきて、地域の方とのかかわりみたいなものというのはわりとスムーズに入っていましたか。もちろんお子さんを通してということでも構いませんけれども。

八小渉外委員① そうですね。子どもを通してはすごくスムーズに。すごく住みやすいいい街だと思います。

倉持委員 長く住んでいらっしゃる方はどうですか。

八小渉外委員② 私もとてもいいと基本的には思っているのですけれども、子どもを連れて歩くのが。こんなことを言ってもしょうがないかもしれないのですけれども、道がすごく狭いし、あとは自転車とかそういう、今、ちょっとしたお買い物をするのも子どもを連れてちょっとというときに、ぽっと置いていかれるところがないというか、非常に買い物しづらくて、そういうところですかね。子どもを連れて、今なんかでも、だんだん大きくなると、今度はみんなよく食べるので買い物が大変になってくるので、やはりもう少し買い物のしやすさですかねとか、道が危ないので子どもの手を引いて歩いたりとかというところはすごく思っていました。怒られたりもしたことがあって、自転車を大学通りのお寿司屋さんで、ちょっと前を見て子どもを連れてお寿司を買おうと思って並んでいたら、こんなどーんで張られて。そうなのです。それで、100円のところに置いてくださいって、市役所のおじさんとかに。これ買うだけなのに、100円のところに。こんなに両手に子どもを連れて、もう買うの嫌だと思って帰ったりしたことも何度かあるので、もうちょっと優しくしてくれないかなというのがありますかね。

今度は両親のことがだんだん気になりますかね。うちは地方なので、両親を地方に置いているので、国立市に何かで呼ぶとか、そういうときにどうなのか何も知らないの、そういうのってどうなってしまうのかなというの。今度はそちらのほうが気になるので、そういうことをこういう講座で勉強しないといけないかもしれないのですけれども。

牧野委員 ありがとうございます。ほかの委員の皆様いかがですか。

それから、最後のその他というところで、八小父母と教師の会の活動を続けていく上での国立市の生涯学習などについて、ニーズというか、要望ということがあればということなのですが。

太田委員 その活動というのは八小父母と教師の会の活動ということですね。

牧野委員 というのでいいのですね、これ。そう捉えてよろしいのですね。

事務局 はい。

牧野委員 八小父母と教師の会の活動を続ける上での。ありますか。

八小渉外委員① うちはもう子どもが結構大きいのであれなのですけれども、やはりこういうPTAの活動をしている方で小さいお子さんがいたりとか、幼稚

園にお迎えにいかねばいけないとか、そういう方たちも結構いらっしやるので、やはり地域の中でちょっとそういうときは預かってもらえるところとか、何かそういう気軽に地域で子育てをするという、あるかもしれないのですけれども、そういう場所とか、今はどこも危険、公園も危険という世の中になってしまっていて、なので、せっかくこんなすてきな街なので、地域で預けたり預かったりというようなことができたなら、こういうPTAの活動はもっとしやすくなるかと。今日も多分私たち2人というのは、皆様小さいお子さんがいらっしやって夜は出られないということがあって、来られないのです。なので、この5、6年のお母さんになってしまったというところもあるのですが、夜まではなかなか預けられないかもしれないのですけれども、核家族化が進んでいるので、地域でそういうことができるような、すごい理想かもしれないのですけれども、でも、少しでもそういうふうになっていけば、私たちも今度は見る側になっていけると思うので、そういうふうになるといいなというのはあります。

牧野委員 八小生涯委員②さんは何かございますか。

八小渉外委員② 私は。八小父母の会としてですよ。

牧野委員 の活動として。

八小渉外委員② の活動として。会行事とか、そういう行事を開いたりするときに、いつも非常に困られるというのを何度か聞いたことがあって、そういうときに、ここにあるような文化芸術とか、そういうところの何か手助けだったり、小学生だったら小学生はこういう感じのもの。いろいろ知っていても、それが小学生にふさわしいとか、その年代に合うものかどうかというのがなかなか判断が難しかったりするもので、何かアドバイスなりサポートなりがあるとやりやすいのではないかということだと思います。

牧野委員 ありがとうございます。今のお話をお伺いしての委員さんのご意見等あります。ご質問とか。  
それでは、大体的な感じですか。

柳田議長 ありがとうございます。時間も予定時間を大分過ぎてしまいました。まだまだお話を伺いたいたところでございますが、時間になりましたので、以上をもちまして、ヒアリングを終了させていただきます。  
本日は、お忙しいところ、貴重なお話を聞かせていただきまして、大変ありがとうございました。  
その他、事務局から何かございますでしょうか。

事務局 片づけが終わって9時に出なければいけないということでもありますので、資料3について、簡単に説明させていただきます。  
今後なのですけれども、資料3についてなんですけれども、7月末にヒアリングをしまして、8月の回でヒアリング、アンケートをもとに課題を修正しまして、その後、重点施策ですとかを検討していただくのですけれども、その後、方針の章立ての検討をしていただくこととなります。章立ての検討に当たっては、前提としまして、答申に何を盛り込むべきかというところで、まず考えていただくというところで皆様に宿題をとということで考えているところでございます。今日、その参考になるものということで用意させてい



いただきましたので、説明だけさせていただきます。

資料3についてなんですけれども、一覧表にまとめさせていただいたのが、一番左の列から、定例会の①、②というのが定例会の回とその右が開催時期、その右に、その回においてどのようなことが審議されたかという内容で、その右に成果物ということでございますけれども、白丸がついた項目が書かれたもの、黒丸がついて項目が書かれたものがございますけれども、表の一番下に説明書きがございますが、白丸のものは各委員の発表などに基づいたもの、各委員からそれぞれ出された意見ですとか発表のもの。黒丸については各委員さんで話し合っていたいただいた結果、まとめたものになっております。

例えば⑤の27年9月では、皆様から多摩地域の生涯学習計画について研究していただいて発表していただいたというのがございますので、その回には多摩地域の生涯学習計画について各委員ということで書かれたものが成果物として出てきております。そういったものが本日までに書かれたものがございまして、あと、今後の予定についてになりますけれども、網かけがかかっているところが今後のものになります。今後、想定される成果物としましては、国立市の生涯学習にかかわる課題のアンケート、ヒアリングを受けての修正だったり重点施策だったり体系だったり、あと、はてながついておりますけれども、基本理念だったりということが想定されるのかと思っております。

その右に、参考までということで、今後予定されております宿題について書かせていただいております、非常に回数が多いのですけれども、ご協力いただければと思います。

今日、こういった資料を出させていただいたのが、次のページをおめくりいただきまして、次ページ以降、あわせまして18から20期の答申です。その目次をご用意させていただきました。18から20期で、答申についてどういった内容が書かれたのかというところで、お時間もありませんので、後ほど見ていただければと思うのですけれども、最初のページにお戻りいただきまして、答申の中に盛り込んでいただく内容というのが、成果物というところが1つの、ポイントといったらい過ぎかもしれないのですけれども、成果物というところを中心に答申に盛り込んでいくようになるのかということで、まとめさせていただきましたので、9月の定例会の際に答申に盛り込むべき内容はどうでしょうかというところでご検討の宿題をお願いすることになりますので、また、見ていただいて、少しイメージしていただければということで、今日、こういった資料をご用意させていただきました。

柳田委員 なにかご質問等はございますでしょうか。それではないようなので、今回は終了させていただきます。次回は、7月26日18時半より市役所第3、4会議室で開催させていただきます。

事務局 最後に、日程調整にご協力をいただきました、第2回臨時会についてご報告いたします。日程を、10月13日木曜日19時より開催したく考えております。この日は牧野委員、倉持委員がご欠席、中野委員が未定であるのご返信いただいておりますが、他の日だともっと出られない方がいるとのことでこの日とさせていただきます。

柳田議長 それでは本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

— 了 —